

## お詫びと訂正

このたびは、日立アドバンストサーバ HA8000/RS220[2012年11月～モデル](以下 システム装置) またはHA8000/RS220-s[2012年11月～モデル](以下 システム装置)をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

『ユーザーズガイド』に訂正箇所があります。謹んでお詫び申し上げます。

また、「Hitachi Compute Systems Manager」のバンドル開始について本書の巻末に記載しております。ご参照いただきますようお願い申し上げます。

### ■ユーザーズガイド ～導入編～

- ・「5 仕様」 「5.1 システム装置の仕様」 「5.1.1 RS220 AM1/DM1 モデル」 (P.60)
- ・「5 仕様」 「5.1 システム装置の仕様」 「5.1.3 RS220-s SM1/VM1 モデル」 (P.67)
- ・「5 仕様」 「5.1 システム装置の仕様」 「5.1.4 RS220-s TM1/UM1 モデル」 (P.71)

誤		
シリーズ		...
モデル		...
...		
メインメモリー	サポート DIMM	32768MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM) 2048MB/4096MB/8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1600 SDRAM)
	...	...
...		
正		
シリーズ		...
モデル		...
...		
メインメモリー	サポート DIMM	32768MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM) 2048MB/4096MB/8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1600 SDRAM) <del>8192MB/16384MB WideRange Registered DIMM (DDR3 1333 SDRAM)</del>
	...	...
...		

## ■ ユーザーズガイド ～運用編～

- ・ 「3 システム装置の機能」「3.5 メモリー-RAS 機能」「3.5.1 オンラインスเปアメモリーについて」(P.47)

表に次の内容を追加

形名	メモリー容量	ランク数
MJ708GL3	8192MB	2
MJ716GL3	16384MB	2
MJ748GL3C	49152MB (16384MB x 3 枚)	2
MJ748GL3SEX	49152MB (8192MB x 6 枚)	2
MJ796GL3SEX	98304MB (16384MB x 6 枚)	2

- ・ 「3 システム装置の機能」「3.5 メモリー-RAS 機能」「3.5.1 オンラインスเปアメモリーについて」(P.49)

表に次の内容を追加

搭載メモリーボード	1 チャンネルあたりのスเปアメモリー容量
MJ708GL3: 8192MB	4096MB
MJ716GL3: 16384MB	8192MB
MJ748GL3C: 49152MB (16384MB x 3 枚)	8192MB
MJ748GL3SEX: 49152MB (8192MB x 6 枚)	4096MB
MJ796GL3SEX: 98304MB (16384MB x 6 枚)	8192MB

- ・ 「4 運用上の注意事項」「4.1 VMware 運用上の注意事項」「4.1.1 vSphere Client の「健全性ステータス」表示の取り扱いについてのお願い」(P.56)

次の内容を追加



システム装置にオプションの電源ユニットまたはシステムファンを搭載しておらず、それぞれ冗長構成ではない場合、vSphere Client の「健全性ステータス」において次のセンサーが「Redundancy lost」(冗長性の失効)となり、ステータスが「警告」と表示されます。

- ・ 「電源」センサーの Power Unit の Redundancy
- ・ 「ファン」センサーの Fan Redundancy

冗長構成が可能なコンポーネントでありながら冗長化されていないため、上記表示となりますが、エラーではありません。この場合表示を無視してください。

なお、電源ユニットやシステムファンを冗長構成にしている場合、エラーが発生した場合、ステータスは「アラート」と表示されます。

- ・ 「4 運用上の注意事項」 「4.1 VMware 運用上の注意事項」 (P.56)

#### 次の内容を追加

### 4.1.2 VMware vSphere ESXi 5.5 使用時のシステム BIOS 設定変更について

VMware vSphere ESXi 5.5 をインストールおよび操作する場合、システム BIOS のセットアップメニューにおいて「EHCI Hand-off」（EHCI ハンドオフ機能）設定を「Enabled」に変更する必要があります。詳細は『ユーザーズガイド ～BIOS 編～』 「1.2.3 Advanced : 拡張メニュー」 「(8)USB Configuration : USB 機能設定サブメニュー」をご参照ください。

「EHCI Hand-off」の設定を変更せず「Disabled」のままの場合、USB デバイスが動作しません。このためキーボードやマウス、外付けの DVD-ROM ドライブなどが使用できません。

- ・ 「4 運用上の注意事項」 「4.3 システムクロックに関する注意事項」 「4.3.1 UTC 設定の注意事項について」 「(2) VMware の場合」 (P.61)

#### 次の内容を追加

- 「Hitachi Compute Systems Manager」に通知されるアラートの発生日時はシステム BIOS の時刻で表示され、OS の表示時刻から 9 時間遅れた時刻が表示されます。

## ■ ユーザーズガイド ～オプションデバイス編～

- ・ 「2 メモリーボードを取り付ける」「2.1 メモリーボードの種類」「2.1.1 メモリーボードの種類」(P.6)

### 誤

メモリーボードは 20 種類 あります。出荷時のメモリー動作モードにより、搭載できるメモリーボードが異なります。また、動作クロックが 1600MHz のタイプと 1333MHz のタイプの 2 種類があります。システム装置に搭載するメモリーボードは、動作クロックをすべて同じにする必要があります。

形名	メモリー容量	動作クロック
...		

\*1: RS220 CM1モデルはサポートしていません。

\*2: メモリー動作モードを「Mirroring」に設定して出荷するための専用形名です。

\*3: メモリー動作モードを「LockStep」に設定して出荷するための専用形名です。

\*4: メモリー動作モードを「Sparing」に設定して出荷するための専用形名です。

### 正

メモリーボードは 29 種類 あります。出荷時のメモリー動作モードにより、搭載できるメモリーボードが異なります。また、動作クロックが 1600MHz のタイプと 1333MHz のタイプの 2 種類があります。システム装置に搭載するメモリーボードは、動作クロック、DIMM の種類および容量による制限があります。

形名	メモリー容量	動作クロック
...		
<u>MJ708GL3*1*5</u>	<u>8192MB</u>	<u>1333MHz</u>
<u>MJ716GL3*1*5</u>	<u>16384MB</u>	
<u>MJ748GL3C*1*5</u>	<u>49152MB (16384 x 3 枚)</u>	
<u>MJ716GL3MEX*1*2*5</u>	<u>16384MB (8192MB x 2 枚)</u>	<u>1333MHz</u>
<u>MJ732GL3MEX*1*2*5</u>	<u>32768MB (16384MB x 2 枚)</u>	
<u>MJ716GL3LEX*1*3*5</u>	<u>16384MB (8192MB x 2 枚)</u>	<u>1333MHz</u>
<u>MJ732GL3LEX*1*3*5</u>	<u>32768MB (16384MB x 2 枚)</u>	
<u>MJ748GL3SEX*1*4*5</u>	<u>49152MB (8192MB x 6 枚)</u>	<u>1333MHz</u>
<u>MJ796GL3SEX*1*4*5</u>	<u>98304MB (16384MB x 6 枚)</u>	

\*1: RS220 CM1モデルはサポートしていません。

\*2: メモリー動作モードを「Mirroring」に設定して出荷するための専用形名です。

\*3: メモリー動作モードを「LockStep」に設定して出荷するための専用形名です。

\*4: メモリー動作モードを「Sparing」に設定して出荷するための専用形名です。

\*5: 動作クロック1333MHzのWideRange Registered DIMM (8192MB/16384MB) は、その他のメモリーボードと混在搭載できません。

- ・ 「2 メモリーボードを取り付ける」「2.1 メモリーボードの種類」「2.1.1 メモリーボードの種類」(P.7)

表に次の内容を追加			
メモリーボードの種類（形名）	設定	2 枚/チャンネル	1 枚/チャンネル
<b>MJ708GL3</b> <b>MJ716GL3</b> <b>MJ748GL3C</b> <b>MJ716GL3MEX</b> <b>MJ732GL3MEX</b> <b>MJ716GL3LEX</b> <b>MJ732GL3LEX</b> <b>MJ748GL3SEX</b> <b>MJ796GL3SEX</b>	<b>AUTO（デフォルト）</b>	<b>1.35V</b>	<b>1.35V</b>
	<b>1.5V</b>	<b>1.5V</b>	<b>1.5V</b>

- ・ 「2 メモリーボードを取り付ける」「2.1 メモリーボードの種類」「2.1.3 メモリーの動作クロック」(P.12)

表に次の内容を追加					
メモリーボードの種類（形名）	メモリーボードの動作クロック *1	動作電圧設定 *2	搭載プロセッサによるメモリーボードの動作クロック		
			インテル Xeon E5-2403	インテル Xeon E5-2440/ E5-2420/ E5-2430L	インテル Xeon E5-2470
<b>MJ708GL3</b> <b>MJ716GL3</b> <b>MJ748GL3C</b> <b>MJ716GL3MEX</b> <b>MJ732GL3MEX</b> <b>MJ716GL3LEX</b> <b>MJ732GL3LEX</b> <b>MJ748GL3SEX</b> <b>MJ796GL3SEX</b>	<b>1333MHz</b>	<b>AUTO</b>	<b>1066MHz</b>	<b>1333MHz</b>	<b>1333MHz</b>
		<b>1.5V</b>			

\*1: **1333MHz：32768MB**のメモリーボードと**1600MHz**のメモリーボードを混在搭載している場合は、すべてのメモリーボードが**1333MHz**のメモリーボードの動作クロックで動作します。

**なお、1333MHz：8192MB/16384MBのメモリーボードは、その他のメモリーボードと混在搭載できません。**

...

## ■ ユーザーズガイド ～BIOS 編～

- ・ 「2 MegaRAID WebBIOS」「2.3 MegaRAID WebBIOS の設定項目」「2.3.4 Controller Properties: ディスクアレイコントローラ設定メニュー」「(1) Properties: コントローラプロパティサブメニュー1」(P.72、P.73)

誤			
設定項目	設定内容	設定値／表示	
N Spinup Drive Count *3	システム起動時の物理ドライブ起動台数	0 ~ 8 / 【1】 / 【4】 *5	
O Spinup Delay *3	システム起動時の物理ドライブ起動タイミング	0 ~ xxx / 【6】 / 【4】 *6	
...			
*5 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）は「1」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定してください。			
*6 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）は「6」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定してください。			
正			
設定項目	設定内容	設定値／表示	
N Spinup Drive Count *3	システム起動時の物理ドライブ起動台数	0 ~ 8 / <del>【1】</del> / <del>【4】</del> *5	
O Spinup Delay *3	システム起動時の物理ドライブ起動タイミング	0 ~ xxx / 【6】 / <del>【4】</del> / <del>【2】</del> *6	
...			
*5 <del>ディスクアレイコントローラボード（内蔵用）は「1」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定してください。</del>			
*6 ディスクアレイコントローラボード（内蔵用） <u>【標準搭載】</u> は「6」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に、 <u>ディスクアレイコントローラボード（外付け用：キャッシュバックアップ付）は「2」に設定してください。</u>			

- ・ 「2 MegaRAID WebBIOS」「2.3 MegaRAID WebBIOS の設定項目」「2.3.4 Controller Properties: ディスクアレイコントローラ設定メニュー」「(1) Properties: コントローラプロパティサブメニュー1」(P.73)

次の補足の内容を削除	
<div> <div>...</div> <div>補足</div> </div>	<p>■ 設定値を変更する場合は、...</p> <p>■ <b>「Spinup Drive Count」、「Spinup Delay」の設定は固定されているため、設定値を変更しても反映されません。</b></p>

- ・ 「2 MegaRAID WebBIOS」 「2.4 論理ドライブの構築と編集」 「2.4.1 論理ドライブを構築する」 「(1) RAID 0,1,5,6 の論理ドライブを構築する」 (P.90)
- ・ 「2 MegaRAID WebBIOS」 「2.4 論理ドライブの構築と編集」 「2.4.1 論理ドライブを構築する」 「(2) RAID 10 の論理ドライブを構築する」 (P.99)

## 誤

設定項目	設定内容	設定値
Write Policy *...	ライトポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッシュバックアップ付ではないディスクアレイコントローラの場合 : ...</li> <li>・ キャッシュバックアップ付のディスクアレイコントローラの場合 : Write Through (ライトキャッシュ無効) / Always Write Back (ライトキャッシュ有効) / <b>【Write Back With BBU (キャッシュバックアップモジュール搭載時のみライトキャッシュ有効)】</b></li> </ul>
...		

## 正

設定項目	設定内容	設定値
Write Policy *...	ライトポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャッシュバックアップ付ではないディスクアレイコントローラの場合 : ...</li> <li>・ キャッシュバックアップ付のディスクアレイコントローラの場合 : <u>Write Through (ライトキャッシュ無効) /</u> <u>Always Write Back (ライトキャッシュ有効) /</u> <b>【Write Back With BBU (キャッシュバックアップモジュール搭載時のみライトキャッシュ有効)】</b></li> </ul>
...		

※ キャッシュバックアップ付のディスクアレイコントローラの、「Write Policy」デフォルト値を訂正

- ・ 「2 MegaRAID WebBIOS」「2.8 MegaRAID WebBIOS の設定値」「2.8.2 設定値一覧」(P.133、P.134)

誤	
項目	設定値
Controller Properties	
Properties	
...	
Spinup Drive Count	[1 または 4] *2
Spinup Delay	[6 または 4] *3
...	
...	
*1 ... *2 ディスクアレイコントローラ（内蔵用）[標準搭載]は「1」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定します。 *3 ディスクアレイコントローラ（内蔵用）[標準搭載]は「6」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定します。 *4 ディスクアレイコントローラ（内蔵用）[標準搭載]は「Enabled」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「Disabled」に設定されます。	
正	
項目	設定値
Controller Properties	
Properties	
...	
Spinup Drive Count	[1 または 4] *2
Spinup Delay	[6、4 または 2] *3
...	
...	
*1 ... *2 <del>ディスクアレイコントローラ（内蔵用）[標準搭載]は「1」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に設定します。</del> *3 ディスクアレイコントローラ <del>ボード</del> （内蔵用）[標準搭載]は「6」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「4」に、 <del>ディスクアレイコントローラボード（外付け用：キャッシュバックアップ付）は「2」に設定します。</del> *4 ディスクアレイコントローラ <del>ボード</del> （内蔵用）[標準搭載]は「Enabled」に、ディスクアレイコントローラボード（外付け用）は「Disabled」に設定されます。	



# 「Hitachi Compute Systems Manager」の バンドル開始について

2013 年 11 月末以降に出荷されるシステム装置に、サーバ管理ソフトウェア「Hitachi Compute Systems Manager」(以降 HCSM)のバンドルを開始しました。次の説明をご一読いただき、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

## HCSM の概要

「HCSM」は、障害や性能・消費電力の監視、システムディスクのバックアップ・リストアなど、システム管理者の負担を軽減し、システム装置の安定運用を支援します。HCSM はエージェントレス管理、仮想化管理、サーバの性能監視などの特長を備えています。

使いかたの詳細は『Hitachi Compute Systems Manager Software, JP1/ServerConductor Blade Server Manager』DVD-ROM (以降 『HCSM, JP1/SC BSM』DVD-ROM) に格納される次のマニュアルをご参照ください。

- 『Hitachi Command Suite Compute Systems Manager Software ユーザーズガイド』
- 『Hitachi Command Suite Compute Systems Manager Software 導入・設定ガイド』をご参照ください。

## HCSM のバンドル形態

「HCSM」は、「JP1/ServerConductor」と共に DVD-ROM に格納されます。

これにより、従来添付されていた『JP1/ServerConductor Blade Server Manager』CD-ROM は、システム装置に添付されません。

このため、ユーザーズガイドに記載の“『JP1/ServerConductor Blade Server Manager』CD-ROM”は、“『HCSM, JP1/SC BSM』DVD-ROM”に置き換えてお読みください。

## HCSM 導入時の注意

1 つの管理対象 (サーバ) を、「HCSM」と「JP1/ServerConductor」の両方で同時に管理することはできません。

導入時の注意や、「HCSM」と「JP1/ServerConductor」の選択基準については、『HCSM, JP1/SC BSM』DVD-ROM に格納される『サーバ管理ソフトウェア選択の手引き』をご参照ください。